

ニュース和歌山 2022年11月26日号の  
「おしえて！マイドクター Q&A」に掲載。

Q

右手首に痛みがあります。病院で  
キーンベック病と言われました。



社会医療法人三車会  
公式キャラクター  
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ  
テーション病院

手・足の外科センター

整形外科専門医 手外科専門医

谷口 泰徳 副院長・センター長

A

キーンベック病  
は月状骨軟化症(げ  
つじょうこつなん

や野球をしている人、女性や高  
齢者にもみられることがあり  
ます。

かしよう)とも呼ばれます。約  
100年前にオーストリア人医師  
のキーンベックが初めて報告  
したためキーンベック病と呼  
ばれています。手首には8つの  
骨があり、そのうちの1つの月  
状骨の血流が悪くなりつぶれ  
て、手首に痛みがでます。特に  
手を使った後、手首の真ん中に  
痛みと腫れがみられます。手首  
の動きが悪くなり、握力も低下  
します。病気を放置しておく  
と、月状骨がつぶれて割れてし  
まうことがあります。原因は不  
明ですが仕事で手をよく使う  
男性に多くみられます。テニス

レントゲン検査で月状骨に  
変形があれば診断されます。M  
RI検査では早期の診断がで  
きます。治療は年齢、症状、レン  
トゲン検査での骨の変形の進  
行に応じて選択されます。保存  
的治療ではギプス固定や器具  
で手首を安静にして治します。  
症状が改善しない時や骨の変  
形が進行している場合は手術  
による治療が選択されます。手  
術は進行程度に応じていろい  
ろな手術法が行われます。例え  
ば割れた骨を切除する方法も  
あります。詳しいことは手外科  
専門医にご相談ください。